

平和首長会議加盟自治体の皆様

平素より平和首長会議の活動にご支援・ご協力いただき、心より感謝申し上げます。
平和首長会議の近況をお知らせします。

<<今号の内容>>

- ◆核兵器禁止条約に関する決議採択を受けて公開書簡を发出
- ◆広島市長からオバマ米国大統領に書簡を送付
- ◆平和首長会議事務局がデモイン市（米国アイオワ州）からインターンを受け入れました
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース（中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事）
- ◆加盟都市の活動紹介
- ◆第9回平和首長会議総会についてのご案内
- ◆平和首長会議情報システムについてのご案内
- ◆被爆樹木の苗木等の配付事業及び「平和の灯」の分火事業のご案内
- ◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！
- ◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！
- ◆12月の平和首長会議会長訪問
- ◆平和首長会議加盟自治体数：162カ国・地域 7,205自治体

~~*~*~*~*~*~*~*~*

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

ウェブサイト：<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

「いいね！」をお待ちしています。

~~*~*~*~*~*~*~*~*

=====

◆核兵器禁止条約に関する決議採択を受けて公開書簡を发出

[2016年12月24日]

=====

12月24日（現地時間12月23日）、国連総会において、核兵器禁止条約制定に向けた交渉会議を2017年に開催する旨の決議が賛成多数で採択されました。

これを受け、平和首長会議は、核保有国や核の傘の下にある国を含む全ての国が、この交渉会議に積極的に参加し、真摯な姿勢で「核兵器禁止条約」の制定に取り組むよう要請する公開書簡を、全ての国連加盟国に発出しました。

あわせて、国連事務総長や次期国連事務総長、国連総会議長等にも本書簡を送付し、平和首長会議の活動への支援を要請するとともに、平和首長会議加盟都市に対し、この書簡に込めたメッセージを各国政府や市民社会に広く伝えてもらうよう依頼しました。

今回決議された交渉会議は、3月27～31日と6月15日～7月7日に、ニューヨークの国連本部で開催されます。平和首長会議としても、会議への出席や公開書簡の发出を通して、加盟都市の市民、NGO等幅広い市民社会の声が会議での議論に反映されるよう働き掛けていく予定です。

▼公開書簡（平和首長会議ウェブサイト）：

日本語訳：

http://www.mayorsforpeace.org/jp/activities/statement/request/161224_Open_Letter_in_response_to_UNGA_vote_on_L41_J.pdf

英語原文：

http://www.mayorsforpeace.org/english/activities/statement/request/161224_Open_Letter_in_response_to_UNGA_vote_on_L41.pdf

=====

◆広島市長からオバマ米国大統領に書簡を送付

[2016年12月20日]

=====

12月20日、小溝泰義平和首長会議事務総長（広島平和文化センター理事長）は、在日米国大使館を訪問し、松井広島市長からオバマ大統領に宛てた書簡をケネディ駐日大使に手渡しました。

書簡では、5月の広島訪問に対する謝意を表するとともに、大統領退任後も広島市や平和首長会議の「核兵器のない世界」の実現に向けた取組への協力を依頼しています。

▼広島市長がオバマ米大統領に今後の連携を求める書簡を发出（平和首長会議ウェブサイト）：

日本語訳：

http://www.mayorsforpeace.org/jp/topic/2016/Letter_to_President_Obama_Japanese.pdf

英語原文：

http://www.mayorsforpeace.org/english/topic/2016/Letter_to_President_Obama.pdf

=====

◆平和首長会議事務局がデモイン市(米国アイオワ州)からインターンを受け入れました

[1月11日～23日]

=====

平和首長会議では、第8回総会において策定された行動計画に沿った取組として、平成26年度から平和首長会議インターンシップを実施しています。

この事業は、平和首長会議の役員都市やリーダー都市から職員等をインターンとして広島に招へいし、平和首長会議事務局の業務に従事してもらうことにより国際的な業務の推進を図るものです。また、インターンに被爆の実相についての理解を深め、ヒロシマの思いを共有してもらうことにより帰国後のそれぞれの都市で核兵器廃絶に向けた活動の充実、加盟都市間のネットワークの強化を図ることを目的としています。

1月11日から23日まで、平和首長会議のリーダー都市であるデモイン市（米国アイオワ州）からインターンを受け入れています。

今年度末までに、モンテンルパ市（フィリピン）、マラコフ市（フランス）からのインターンを受け入れる予定です。

▼デモイン市からのインターンの活動について（平和首長会議フェイスブック）：

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace/posts/1693436494250410>

=====

◆ヒロシマ発平和関連ニュース（連載第27回）

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

=====

新しい年が始まりました。2017年がどんな年になるのか、今はまだ期待と不安が入り交じっている時季でしょう。先行きの見通しはなかなか立ちませんが、多くの国や国際組織でトップが交代する変化の年になることは確かです。

1月1日付で国連の新しい事務総長にアントニオ・グテーレス氏が就任しました。1月20日には、米国でオバマ氏の後任としてトランプ氏が大統領になります。フランスでは5月7日の大統領選の決選投票があり、現職のオランド氏の後継者が決まります。翌6月には総選挙（国民議会）もあります。欧州の「盟主」ドイツでも、秋に連邦議会選挙が予定されています。

それぞれの国でポピュリズムが台頭し、難民・移民排斥など過激な主張に人気が集まっているだけに、気になるのは、どんな変化が起きるのか、その中身でしょう。社会が寛容さを失い、住民を分断する方向に進まないか、心配です。

もう一つ、被爆地広島にとって前向きな変化を期待したいことがあります。3月に始まる「核兵器禁

止条約」をつくるための多国間の交渉会議です。米国やロシアなど核兵器保有国の多くは反対しており、難航が予想されます。それでも、核兵器のない世界実現への一步を踏み出す年にするため、私たち広島
の住民も努力したいと思います。

関連記事は次のアドレスで読めます。

○ [核なき世界への鍵] 広がれ 希望のリツイート

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=68113>

○ [詩のゆくえ] アーサー・ビナードさんに聞く 峠三吉「原爆詩集」の真価とは

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=68241>

○ 首相 真珠湾慰霊 【解説】 反省触れず説得力欠く

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=68005>

○ 「不戦」実現へ行動求める 「核禁止条約」 主導を広島の被爆者

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=68014>

○ トランプ氏「核戦力強化」投稿 被爆者「理解できない」

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=67797>

(ヒロシマ平和メディアセンター提供)

=====

◆加盟都市の活動紹介

=====

*サン・フェリユ・デ・ロブレガト市 (スペイン)

被爆イチョウの植樹式を実施

2016年11月30日、カタルーニャ地域の役員都市であるサン・フェリユ・デ・ロブレガト市は、国際教育都市連合 (IAEC) が提唱する同日の「国際教育都市デー」に合わせ、広島で被爆したイチョウの種から育てられた「被爆2世」の木の植樹式を市内の学校で実施しました。また、植樹式に併せて折鶴のワークショップも開かれ、多くの人に参加しました。

▼植樹式の写真 (サン・フェリユ・デ・ロブレガト市ウェブサイト、カタルーニャ語) :

<http://www.santfeliu.cat/go.faces?xmid=1467&newid=25150&language=ca>

*マドリード市 (スペイン)

平和のための教育を考える国際フォーラムを開催予定

2017年4月19日~21日、スペイン・マドリード市において、「都市における暴力と共生・平和のための教育を考える国際フォーラム」が開催されます。都市が直面する様々な暴力と、そうした暴力の根絶につながる共生・平和教育について、自治体の首長を中心とする関係者が議論する会議です。このフォーラムの趣旨に賛同し、平和首長会議の副会長都市・リーダー都市であるスペイン・グラノラズ市長が組織委員会に参画しています。

▼記事全文と会議詳細 (英語、平和首長会議ウェブサイト)

http://www.mayorsforpeace.org/english/activities/membercity/2017/Madrid/World_Forum_in_Madrid.html

<< 貴自治体の平和活動の情報をお知らせください >>

平和首長会議ホームページの「加盟都市の活動」コーナーに掲載する情報をお待ちしています。

貴自治体における平和に関する様々な事業の情報をぜひお知らせください。

貴自治体のホームページにリンクする形でご紹介しますので、記事のタイトル、英語版の有無、リンク先等の詳細を、次のアドレスにご連絡ください。

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

平和首長会議行動計画に基づく取組を実施する海外の都市等に関する情報を、以下のリンクからご覧いただけます。

▼平和首長会議行動計画に基づく取組実施都市等一覧（海外）（1月13日現在）（平和首長会議ウェブサイト）

http://www.mayorsforpeace.org/jp/activities/projects/Action_Plan/2017/170113_List_of_Activities_J.pdf

=====
◆第9回平和首長会議総会の開催について
=====

平和首長会議は、本年8月7日（月）から10日（木）までの日程で長崎市において第9回総会を開催します。

平和首長会議の今後の活動計画や運営について決定を行う4年に1度の大変重要な会議ですので、ぜひ前向きに参加をご検討ください。詳しい会議日程等は、今後順次お知らせしてまいります。

=====
◆平和首長会議情報システムについてのご案内
=====

平和首長会議では、加盟自治体間の情報共有促進を目的として、「平和首長会議情報システム」を運用しています。このシステムを利用して、各加盟自治体の情報の検索、各自自治体の情報の更新等をしていただくことが可能です。平和首長会議の活動のために本システムを積極的に利用していただければ幸いです。

なお、首長や担当者の氏名・連絡先等、システムに登録している情報に変更が生じた場合は、平和首長会議事務局に修正依頼するのではなく、本システムにログインし、速やかに修正してください。各自自治体の情報を常に最新のものに更新していただきますようお願いいたします。

システムの利用方法等については別途メールでお知らせしています。まだシステムを利用したことがない自治体の担当者の方は是非一度ログインしてみてください。

▼システムのURL：<https://www.mfpinfosys.org/>

平和首長会議情報システムに関するご質問等があれば、次のアドレスにお問い合わせください。

▼Email：mfpssystem@pcf.city.hiroshima.jp

=====
◆被爆樹木の苗木等の配付事業及び「平和の灯」の分火事業のご案内
=====

平和首長会議では、平成25年8月の第8回総会において策定された行動計画の具体的取組である被爆樹木の苗木の配付事業及び「平和の灯」の分火事業を平成26年度から開始しました。

12月1日から31日までに、神奈川県清川村にアオギリとクスノキの苗木を配付しました。

被爆樹木の苗木又は「平和の灯」の受け入れを希望される場合、所定の申請書をEメール又はFAXにて事務局までお送りください。

※被爆樹木の苗木の配付については、配付本数に限りがあるため、万一不足することになった場合は翌年度以降の送付となりますので、あらかじめご了承ください。

※両事業は、通年で行っているため特に申請期限はありません。また、来年度以降も継続して実施しますので、来年度以降の受け入れについても、是非ご検討いただければ幸いです。

▼Email：kokunai-mfp@pcf.city.hiroshima.jp

▼FAX：082-242-7452

=====
◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！
=====

平和首長会議では、第8回総会において策定された行動計画に沿った取組として、平和首長会議原爆ポスター展に国内外の加盟都市を挙げて取り組んでいます。

引き続き、ポスター展の開催にご協力ください。

※ポスター概要：標準サイズ A2 版、18 枚

▼ポスター展の詳細及びポスターのダウンロード

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/projects/poster/index.html>

=====

◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！

=====

2020 年までの核兵器廃絶を実現するために最も効果的な方法は、世界のすべての国が「核兵器禁止条約」を締結することです。「核兵器禁止条約」とは、核兵器の製造、保有、使用等を全面的に禁止する条約です。

皆様のご協力により、2017 年 1 月 1 日現在、2,460,920 筆の署名が集まっています。

今後とも、全加盟都市を挙げて積極的に署名活動を展開しましょう。

(署名はインターネットからも可能です。)

▼署名用紙 (PDF)

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/01_monthly Updating/11_petitionform_jp.pdf

▼オンライン署名

<https://www.ssl-z.city.hiroshima.jp/pcf/jp/form.htm>

▼関連情報：広島市の市民署名活動の展開

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/0000000000000/1333414321137/index.html>

=====

◆12 月の平和首長会議会長訪問

=====

松井一實広島市長・平和首長会議会長は、12 月に次のような海外からの来訪者をお迎えしました。その際に平和首長会議の取組及び加盟要請への協力をお願いしました。

*12 月 7 日 (水) 古谷朋彦 駐グアテマラ共和国日本国特命全権大使

=====

◆平和首長会議加盟自治体数：162 カ国・地域 7,205 自治体

=====

今月新たに 11 自治体が加盟し、平和首長会議の加盟自治体数は 1 月 1 日現在で 7,205 (162 カ国・地域) となりました。皆様の御協力に心から感謝申し上げます。

日本国内では、3 自治体が加盟し、国内加盟数は 1,658 (加盟率 95.2%) となりました。

海外については、テヘラン平和博物館の呼び掛けにより、イランから 7 自治体が加盟しました。これにより、同国の加盟自治体数は 932 となりました。また、フィンランドから首都ヘルシンキ市が加盟し、この結果、計 117 カ国の首都が平和首長会議加盟都市となりました。

引き続き近隣未加盟自治体や姉妹都市への働き掛けなど皆様の御協力をよろしく申し上げます。

▼1 月 1 日付新規加盟自治体一覧 (PDF)

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/2017/newmembers1701_jp.pdf

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/map.html>

本メールニュースに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町 1-5

(公財) 広島平和文化センター 国際部 平和連帯推進課

TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp